

富山大学看護学会誌投稿規定

1. 掲載対象論文：看護学とその関連領域に関する未発表論文（総説・原著・短報・症例報告・特別寄稿）および記事（海外活動報告・国際学会報告）を対象とする。
2. 論文著者の資格：全ての著者は投稿時に富山大学看護学会会員であることが必要である（学会加入手続きは本誌掲載富山大学看護学会会則第3章を参照のこと）。
3. 学会誌の発刊は6月および12月の年2回行う。そのため投稿原稿の締切りは3月および9月末日とする。
4. 投稿から掲載に至る過程：
 - 1) 投稿の際に必要なもの
 - ①初投稿の際
 - ・原稿3部（図表を含む）
 - ・著者全員が学会員であることを確認した書類（書式は自由であるが筆頭者の署名が必要）
 - ・査読料としての3,000円の郵便定額小為替または現金
 - ②査読後再投稿の際
 - ・修正原稿2部（2部ともに変更箇所にアンダーラインをつけて示す）
 - ・査読者に対する回答
 - ・校閲された初原稿
 - ③掲載確定後の際（郵送の場合）
 - ・最終原稿1部
 - ・原稿をファイルしたCD-ROMまたはそれに準ずるもの
（投稿者名、使用コンピューター会社名、ワープロソフト名を貼付）
 - 2) 査読：原則として編集委員会が指名した複数名の査読者によりなされる。
 - 3) 掲載の可否：査読結果およびそれに対する対応をもとに、最終的には編集委員会が決定する。
 - 4) 掲載順位、掲載様式など：編集委員会が決定する。
 - 5) 校正：著者校正は1校までとし、その際、印刷上の誤りによるもののみにとどめ、内容の訂正や新たな内容の加筆は認めない。
5. 倫理的配慮に関して：本誌に投稿される論文（原著・短報・症例報告）における臨床研究は、ヘルシンキ宣言を遵守したものであることとする。患者の名前、イニシャル、病院での患者番号など患者の同定を可能にするような情報を記載してはならない。投稿に際して所属する施設から同意を得ているものとみなす。ヒトを対象とした研究を扱う論文では、原則として「研究対象と方法」のセクションに所属する施設の倫理審査委員会から許可を受けたこと（施設名と承認番号を記載のこと）、および各患者からインフォームド・コンセントを得たことを記載する。ただし倫理審査委員会申請の対象とならない研究論文を除く。
6. 掲載料の負担：依頼原稿以外、原則として著者負担（但し、2万円を上限）とする。なお別刷請求者には別途請求（50部につき5千円）する。

7. 原稿スタイル：

1) 原稿はワープロで作成したものをA4用紙に印字したものとす。

上下左右の余白は2cm以上をとり、下余白中央に頁番号を印字する。

(1)和文原稿：

- ・平仮名まじり楷書体により平易な文章でかつ推敲を重ねたものとする。
- ・句読点には、「,」および「.」を用い、文節のはじめ(含改行後)は、1字あける。
- ・原則として、横書き12ポイント22文字×42行を1頁とし、すべての原稿は20頁以内とする。
- ・原著および短報には英文文末要旨を必要とする。
- ・英文文末要旨は英語を母国語とする人による校閲を経ることが望ましい。

(2)英文原稿：

- ・英語を母国語とする人による英文校正証明書及びそれに代わるものを添付すること。
- ・原則として、12ポイント、ダブルスペースで作成し、すべての原稿は20頁以内とする。
- ・特に指定のないかぎり、論文タイトル、表・図タイトルを含む全ての論文構成要素において、最初の文字のみ大文字とする。但し、著者名のうち姓はすべて大文字で記す。
- ・原著および短報には和文文末要旨を必要とする。

2) 原稿構成は、表紙、文頭要旨(含キーワード)、本文、文末要旨、表、図の順とする。但し、原著・短報以外の原稿(総説等)には要旨(含キーワード)は不要である。

頁番号は文頭要旨から文末要旨まで記し、表以下には記さない(従って、表以下は頁数に含まれない)。

(1)表紙(第1枚目)の構成：①論文の種類、②表題、③著者名、④著者所属機関名、⑤ランニング・タイトル(和字20文字以内)、⑥別刷請求著者名・住所・電話番号・FAX番号、メールアドレス、⑦別刷部数(50部単位)。

表紙(第2枚目)の構成：①②⑤のみを記載したもの。

- ・著者が複数の所属機関にまたがる場合のみ、肩文字番号(サイズは9ポイント程度)で区別する。
- ・英文標題は、最初の文字のみ大文字とする。

(2)文頭要旨(Abstract)(第3枚目)：本文は和文原稿では400文字、英文原稿では200語以内で記す。本文最後には、1行あけて5語以内のキーワードを付す。各語間は「,」で区切る。英語では、すべて小文字を用いる。

(3)本文(第4枚目以降)

- ・原著：はじめに(Introduction)、研究対象と方法(Materials and methods)、結果(Results)、考察(Discussion)、結語(Conclusion)、謝辞(Acknowledgments)、文献(References)の項目順に記す。各項目には番号は付けず、項目間に1行のスペースを挿入する。
- ・短報：原著に準拠する。
- ・総説：はじめに・謝辞・文献は原著に準拠し、それ以外の構成は特に問わない。

(4)文献：関連あるもののうち、引用は必要最小限度にとどめる。

- ・本文引用箇所の記載法：右肩に、引用順に番号と右片括弧を付す(字体は9ポイント程度)。同一箇所に複数文献を引用する場合、番号間を「,」で区切り、最後の番号に右片括弧を付す。3つ以上の連続した番号が続く場合、最初と最後の番号の間を「-」で結ぶ。同一文献は一回のみ記載することとし、「前掲～」とは記載しない。

- ・文末文献一覧の記載法：論文に引用した順に番号を付し、以下の様式に従い記載する。

○著者名は筆頭以下3名以内とし、3名をこえる場合は「ほか」または「, et al」を記載する。

英文文献では、family nameに続きinitialをピリオド無しで記載し、最後の著者名の前に

and は付けない。

○雑誌の場合

著者名：論文タイトル、雑誌名、巻：初頁 - 終頁、発行年（西暦）の順に記す。

雑誌名の略記法は、和文誌では医学中央雑誌、英文誌では index medicus のそれに準ずる。

例：

- 1) 近田敬子, 木戸上八重子, 飯塚愛子ほか：日常生活行動に関する研究. 看護研究 15 : 59-67, 1962.
- 2) Enders JR, Weller TH, Robbins FC, et al : Cultivation of the poliovirus strain in cultures of various tissues. J Virol 58 : 85-89, 1962.

○単行本の場合

・全引用：著者名：単行本表題（2版以上では版数）、発行所、その所在地、西暦発行年。

・一部引用：著者名：表題（2版以上では版数）、単行本表題、編集者、初頁-終頁、発行所、その所在地、西暦発行年。

例：

- 1) 砂原茂一：医者と患者と病院と（第3版）。岩波書店、東京、1993.
- 2) 岩井重富, 矢越美智子：外科領域の消毒。消毒剤（第2版）、高杉益充編, pp76-85, 医薬ジャーナル社、東京、1990.
- 3) Horkenes G, Pattison JR : Viruses and diseases. In "A practical guide to clinical virology (2nd ed), Hauknes G, Haaheim JE eds, pp5-9, John Wiley and Sons, New York, 1989.

○印刷中の論文の場合：これらの引用に関する全責任は著者が負うものとする。

- 1) 立山太郎：看護学の発展に及ぼした法的制度の研究。富山大学看護学会誌(印刷中)。

(5)文末要旨：新たな頁を用い、標題、著者名、所属機関名に次いで文頭要旨に準拠し、和文原稿では英訳したもの、英文原稿では和訳したものをそれぞれ記す（特別寄稿および総説には不要である）。なお文末要旨は2部作成し、1部は著者名、所属機関名を除く。

(6)表および図（とその説明文）：用紙1枚に1表（または図）程度にとどめる。

和文原稿においては、図表の標題あるいは説明文は英文で記してもよい。

肩文字のサイズは9ポイント程度とする。

・表：表題は、上段に表番号（表1.あるいはTable 1.）に続き記載する。

脚注を必要とする表中記載事項は、その右肩に表上左から表下右にかけて出現順に小文字アルファベット（または番号）を付す。有意差表示は右肩*による。表下欄外の脚注には、表中の全ての肩印字に対応させ簡易な説明文を記載する。

・図説明文：下段に図番号（図1.またはFig. 1.）に次いで図標題。説明本文を記載する。

写真（原則としてモノクロ）は鮮明なコントラストを有するものに限定する。

(7)その他の記載法

・学名：イタリック体で記す。

・略語の使用：要旨および本文のそれぞれにおいて、最初の記載箇所においては全記し、続くカッコ内に以後使用する略語を記す。

例：後天性免疫不全症候群（エイズ）、mental health problem (MHP)。

但し、図表中においては number の略字としての n または N は直接使用してよい。

・度量衡・時間表示：国際単位 (kg, g, mg, mm, g/dl) を用い、温度は摂氏 (°C)、気圧はヘクトパスカル (hpa) 表示とする。

英字時間表示には，sec, min, h をピリオド無しで用いる。
(8)記事（海外活動報告・国際学会報告）は1200字程度とし，写真1～2枚をつける。投稿料・掲載料は不要であり，掲載の可否は編集委員会が決定する。

「投稿先」

〒930-0194 富山市杉谷 2630

富山大学医学部看護学科

富山大学看護学会誌編集委員会 金森昌彦（人間科学1講座）宛

メールアドレス：kanamori@med.u-toyama.ac.jp

* 封筒に論文在中と朱書し，郵便書留にて発送のこと